学校番号	３１０

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の美術１」　（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術を学ぶとは、何が美であるのかを探る行為を通して、物事の本質は何なのかを考えることである。
・作品の良さについては、実際に作品を制作しつつ国内外の様々な作家や作品から幅広く知識や技術を学び、自身の取り組みの意味や喜びを見つけて得た成長の成果とする。表現したいものや表現方法にこだわりを持って制作し、試行錯誤を重ねることで到達するものであり、表現の深さや強さとして表れ、作品の密度や完成度に結び付く。
・鑑賞においては、優れた作品に接して作者の制作意図や時代背景を学ぶことで、作品を見る目を養い、技術を知り、より深く表現活動や作品制作の意味を理解するものとする。また、自己の作品制作に求めるものを考える手立てでもある。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していくことができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	鑑賞 オリエンテーション	・授業の取り組み方や、教室、道具の使い方の説明。 ・鑑賞「美術のながれ」 教科書を使用して、西洋と日本の美術の流れを学び、自分の感想を述べる。	a: b: c: 説明を聞き、理解できているか。プリントの完成度。			プリント
	絵画 鉛筆デッサン	「グレースケール」 ・鉛筆を使用し、線を重ねることで明暗の調子をつくる。 ・ことの学習。	a: 制作意図を理解し、筆圧を調整し、鉛筆の濃さや線の重なりを作れている。完成まで粘り強く丁寧に作業できている。	作品		
	鑑賞 「作家探究」	「ゲルニカ」 「ゲルニカ模写」	c: 説明を聞き、理解できているか。プリントの完成度。 a: 前作で学んだ鉛筆の濃淡表現の技術を発揮している。粘り強く丁寧に作業できている。	作品		プリント
	絵画 絵の具の表現技法	「モダンテクニックの体験」 ・モダンテクニックの技法を体験し、ファイルにまとめる。 「賑やかな夢の世界」 ・モダンテクニックで制作した紙を使ってコラージュで表現する	a: 説明を聞き、理解できている。一つ一つの技法が伝わりやすく表現できている。 b: 出題意図を理解し、独自のアイデアで制作できている。 c:一つ一つの技法への取り組み・内容	プリント	作品	プリント
2	立体 紙の造形表	「紙の立体練習課題」	a:それぞれの立体の構造を理解して制作できている	作品		
	鑑賞 「日本の伝統技	「張り子」 ・張り子の歴史と、制作するための材料や技法、身の回りのどんなところで使われているかなどを学ぶ。	c: 説明を聞き、理解できているか。プリントの完成度。			プリント

	立体	「世界の仮面」 ・古今東西の仮面 （写真資料）を鑑賞し、様々な国の文化を知り、仮面のもつ意味や役割を理解する。 「仮面アイデアスケッチ」 「仮面（本制作）」 ・厚紙を使って本制作をする。 ・形が完成したら、和紙を全体に貼っていく（3重）。 ・彩色をする。 ・紐をつけ、仮面として完成させ、展示する。	c： 説明を聞き、理解できているか。プリントの完成度。 a： 説明を聞き、理解できている。独自の発送でアイデアを描いている。 a： 紙の立体練習を活かした造形作品になっている。 b： 造形的なよさや美しさを追求した彩色ができている。	 プリント 作品	 作品	プリント
3	デザイン「ピクトグラム」	「色彩」 ・色彩プリント① 「学校のピクトグラム」 ・アイデアスケッチ（プリント） ・ピクトグラムの役割と日常の中でみる実例を学び、校内で使用できるピクトグラムを考える。 「ピクトグラム（本制作）」 ・伝わりやすさを考えた構成と色使いを工夫する。 ・彩色する むらなく、形からはみ出さないように慎重かつ丁寧に塗る。 ・展示 校内に展示し、他の生徒の作品と自分の作品を比較して感想をレポートにまとめる。	a： 説明を理解できている。 b：ピクトグラムの意味を理解し、独自の視点でアイデアを考えている。 b： 造形的なよさや美しさを追求した彩色ができている。 c： 他の作品を観察し、自分の作品と比較して感想を書く。	プリント	 作品 作品	 プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度